

目 次

自然科学

- ヒルベルト・アイゼンシュタイン級数の尖点での値 露峰 茂明 (1- 20)
- 安否確認システムの開発 丁 亜希・山守 一徳 (21- 33)
- 天文分野を対象とした自主学習型解析体験教材の開発 I
..... 伊藤 信成・山縣 朋彦・濱部 勝・西浦 慎悟・三戸 洋之 (35- 40)
- 音楽療法における数学的パラダイムに関する研究 上垣 渉・根津知佳子 (41- 60)

人文科学

- 「学年別漢字配当表」の字種をめぐって - 「環」、「尺」 - 丹保 健一 (61- 73)
- 江戸時代後期における中華文化受容の様相 - 画人増山雪斎二題 - 山口 泰弘 (75- 86)
- 中国清代版画と浮世絵の技法に関する比較研究 趙 明珠・山口 泰弘 (87- 100)

社会科学

- 女子大生の「着まわし」における実態調査 和田みなみ・山口 奈美・増田 智恵 (101- 113)
- 中高生の居場所形成のための公共施設利用に関する研究 - 中高生に対する調査 -
..... 中島喜代子・山中 章子・松崎明日香・井上真理子 (115- 124)
- 学校運動部への所属経験が大学生のアイデンティティに及ぼす影響 大隈 節子 (125- 133)

教育科学

- 企業の食育イメージと食教育教材の分析 櫻井 誠・磯部 由香・吉本 敏子 (135- 141)
- 日本とフランスにおける味覚教育の現状 吉田 和代・磯部 由香・平島 円 (143- 148)
- 評論・論説教材の関連性に関する考察 守田 庸一 (149- 157)
- 「ブリコラージュ」による物の意味の展開 乗本 秀樹 (159- 167)
- “魚”を描く - 魚の科学的な描き方・必須要素の線と図形・表現のポイント -
..... 関 俊一 (169- 175)
- 教育数学の諸相 (II) - 数学の教育的側面 - 蟹江 幸博・佐波 学 (177- 191)

広島高等師範学校附属中学校における関数教育についての考察 — 明治 38 年から昭和 8 年までの教科書を中心に —	中西 正治 (193-208)
博物館と学校教育の連携の現状と今後の展望	甲斐 麻純・松岡 守 (209-216)
セメントを素材としたものづくり教育での題材の開発	魚住 明生・中村 友紀 (217-226)
技術科教育における「技術を適切に評価し活用する能力と態度」の育成に関する研究	古市 裕太・魚住 明生 (227-232)
子どもの援助に関する教師と保護者との連携における課題	瀬戸美奈子 (233-237)
青年期における完全主義が学校への適応感に及ぼす影響	廣崎 陽・瀬戸美奈子 (239-246)
イギリスの学校における税教育についての一考察	山根 栄次 (247-261)
点字と手話 — 三重大学教員免許状更新講習における取り組み —	郷右近 歩 (263-266)
三重大学における障害学生に対する修学支援の検討 — 聴覚障害学生に対する支援を中心に —	菊池 紀彦・荒川 哲郎 (267-273)
障害者に対する携帯型情報端末を用いた学習支援に関する研究	伊藤 真紀・菊池 紀彦 (275-285)
跳び箱運動における協同的学びに関する実践的研究	加納 岳拓・岡野 昇 (287-296)
「生きる力」論批判ノート (その 1)	佐藤 年明 (297-311)
新教育運動研究の分水嶺としての負の履歴？ — 「決別」と「継承」をめぐる論争を貫くもの —	伊藤 敏子 (313-324)
教員養成型 PBL 教育の研究 (その 1) — 対話型事例シナリオの原理 —	森脇 健夫・山田 康彦・根津知佳子・中西 康雅・赤木 和重・守山紗弥加 (325-335)
クリティカルシンキングをうながすゲーミング教材の開発と評価	南 学 (337-348)
障がいのある人が教育の場を分離されることを考える	荒川 哲郎 (349-355)
幼児期における出来事の順序に関する想起とプランニング — 「落とし物課題」を用いて —	吉田真理子 (357-362)
ルーブリックを用いた協同技能の評価に関する検討	西村まりな・中西 良文 (363-371)
三重県型「学校経営品質」実践に対する校長の認識 — 校長に対する聞き取り調査を中心に —	織田 泰幸 (373-383)